



# 埼玉県立 歴史と民俗の博物館

Saitama Prefectural Museum of History and Folklore

(教員向)

## 各展示室の学習指導要領との係わり

歴史と民俗の博物館は、「埼玉における人々のくらしと文化」をテーマとした歴史・民俗・美術を総合的に取り扱う博物館です。

このホームページは、学習指導要領と各展示資料のかかわりを説明したものです。授業教材の参考などに利用していただくとともに、学校の授業にご活用いただければ幸いです。






## 小・中学校の学習内容とかかわりのある展示品


### 第1展示室 旧石器～弥生時代（狩りから稲作へ）

教科書の学習内容にかかわる主な展示資料	時代	学習指導要領とかかわり	写 真
石斧（写真①）、ナイフ形石器、尖頭器、土 錘、貝刃、など	旧石器	中歴（2）のア	  写真①  写真② 写真③
縄文土器（写真②）、土偶、耳飾など	縄文	小6（1）のア 中歴（2）のア	
弥生土器（写真③）、打製石包丁、炭化米な ど	弥生	小6（1）のア 中歴（2）のア	

### 第2展示室 古墳時代（鉄剣は語る）

教科書の学習内容にかかわる主な展示資料	時代	学習指導要領とかかわり	写 真
金錯名鉄剣（複製・写真①）、熊野神社境内 古墳出土品（勾玉、管玉など・写真②）須 恵器（写真③）、鉄製鎌、木製農具、土師器、 家形・馬形・人形埴輪、鏡、馬具、皆野町 大塚3号墳横穴式石室（複製模型）など	古墳	小6（1）のア 中歴（2）のア	   写真① 写真② 写真③


### 第3展示室 奈良～南北朝時代（武蔵武士）



教科書の学習内容にかかわる主な展示資料	時代	学習指導要領とかかわり	写 真
平城宮木簡（複製・写真①）、古代寺院分布 図など	奈良	小6（1）のイ 中歴（2）のイ	  写真① 写真②
美里町東山遺跡瓦塔・瓦堂（写真②）、紙本 着色平治物語絵巻（模本・写真③）、赤糸威 鎧（模造）など	平安	小6（1）のイ 中歴（2）のイ	
木造伝源頼朝坐像（複製・写真④）、太刀 銘 景光景正（国宝・写真⑤）紙本着色男衾三 郎絵詞（模本）など	鎌倉	小6（1）のウ 中歴（3）のア	  写真③ 写真④
太平記絵巻（一・二・六・七・十巻・写真 ⑥）など	南北朝	中歴（3）のア	

### 第4展示室 美術展示室

古代から近現代まで、また絵画、彫刻、書跡、工芸品など多様な美術工芸品の中から、テーマを設定し、作品を展示しています。保存上、長期間の公開に向かない作品は2～3週間で入れ替える場合もあります。指導要領「小6（1）のエ、カ、中歴（3）のイ、（4）のウ」など文化にかかわる内容の展示です。

### 第5展示室 室町～戦国時代（乱世に生きる）




教科書の学習内容にかかわる主な展示資料	時代	学習指導要領とかかわり	写 真
絹本着色足利政氏像、縹糸威最上胴丸具足、 木造峻翁令山像（複製）など	室町	中歴（3）のア	 写真①

三十二間筋兜(写真①)、雑兵物語(写真②)、足軽胴と火縄銃、漆皮軍配(模造)、鉢形城絵図(複製)など	戦国	小6(1)のオ 中歴(4)のア	 写真②	 写真③
--	----	--------------------	--	--




### 第6展示室 板碑—武士の心—

板碑(板石塔婆)は、鎌倉時代中ごろから室町時代末期にかけて造立された石造の供養塔婆です。直接、教科書の内容とかかわる展示ではありませんが、武家の宗教や文化についての発展学習や調査学習で利用できます。(指導要領「中歴(3)のイ」)




### 第7展示室 江戸時代Ⅰ(幕府の支配と村のくらし)

教科書の学習内容にかかわる主な展示資料	時代	学習指導要領とのかかわり	写 真
江戸時代前期・末期の所領分布図、川越城復元模型(写真①)、忍城絵図、岩槻城絵図、紙本淡彩鷹狩絵巻、主要街道と宿場図、中山道分間延絵図(複製)、旅の道具、渾天儀、群書類従、寺子屋絵馬、忍城鯨(写真②)、岩槻藩境界石標(写真③)など	江戸	小6(1)のオ、カ 中歴(4)のイ、ウ	 写真①  写真②  写真③

### 第8展示室 江戸時代Ⅱ(社会の成長とゆらぎ)

教科書の学習内容にかかわる主な展示資料	時代	学習指導要領とのかかわり	写 真
利根川・荒川流路変遷図、見沼代用水懸渡井通船之真景(写真①)、見沼通船堀模型(写真②)、木造小島庄右衛門座像(写真③)など	江戸	小3・4(5)のウ 小6(1)のオ、キ 中歴(4)のイ、エ	 写真①  写真②  写真③

### 第9展示室 明治時代～現代(激動の時代をこえて)

教科書の学習内容にかかわる主な展示資料	時代	学習指導要領とのかかわり	写 真
太政官高札、地券之証(写真①)、埼玉県成立過程図、秩父暴徒蜂起功労木盃及び箱裏書、渋沢栄一胸像、ラジオ(写真②)、八和田小作争議ポスターなど	明治 大正	小6(1)のキ、 ク、ケ 中歴(5)のア ～オ	 写真①  写真②
二、二六事件画報、衣料切符(写真③)、防空頭巾、米国不発弾、熊谷空襲の被害状況写真、第24回衆議院議員総選挙ポスター、洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビなど	昭和	小6(1)のケ 中歴(5)のカ 中歴(6)のア、イ	 写真③

### 第10展示室 民俗展示室

埼玉の伝統的なくらしや祭り、しきたりなどについて、繰り返しテーマ展を行っています(2～3年に一度、展示全体を更新)。小学校3・4年生の「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」にかかわる資料が展示されることがあります。

※各展示室は定期的に展示替えを行っており、この表に示した資料が展示されていない場合もございます。

## 第一展示室（旧石器～弥生時代）



①



旧石器時代	<b>局部磨製石斧</b> <small>せきふ</small>
指導要領とのかかわり 中歴（２）のア	約3万年前の石器で、刃先が部分的に磨いてあり、世界的にも珍しい石器です。埼玉県寄居町で発見され、3万年前には人がいたことがわかりました。

②



縄文時代	<b>縄文土器（深鉢）</b>
指導要領とのかかわり 小6（１）のア 中歴（２）のア	約6500年前の土器で、全面に細い縄を規則的に転がしています。煮炊きに使われた土器で、この型式の土器は、蓮田市関山遺跡が標準遺跡になっています。

③



弥生時代	<b>弥生土器（壺）</b>
指導要領とのかかわり 小6（１）のア 中歴（２）のア	博物館内の遺跡「大宮公園内遺跡」で発見された土器です。本来は種籾を貯蔵する目的の土器ですが、方形周溝墓という墓から出土したため底に穴が開けられています。

## 第二室 古墳時代—鉄剣は語る—



①

古墳時代	<b>金錯銘鉄剣</b> （複製） <small>きんさくめい</small>
指導要領とのかかわり 小6（1）のア 中歴（2）のア	115文字の銘文が金象嵌で書かれています。銘文中には、辛亥の干支が書かれていて、西暦471年だとわかります。また、ヤマト王権の大王「ワカタケル」の文字があり、雄略天皇と考えられています。原資料国宝。



②

古墳時代	<b>熊野神社境内古墳出土品</b> （桶川市）
指導要領とのかかわり 小6（1）のア 中歴（2）のア	熊野神社古墳は4世紀後半ごろ作られた古墳で、 <small>まがたま</small> ・ <small>くだたま</small> ・ <small>ぎよくじょう</small> 勾玉・管玉・腕輪・豪族が持つ杖、玉杖など豪華な装飾品が出土しています。重要文化財。



③

古墳時代	<b>須恵器</b> （高坏・樽形はそう）
指導要領とのかかわり 小6（1）のア 中歴（2）のア	須恵器は朝鮮半島から伝来した専用のかまを使って焼かれた、灰色の固い焼き物です。

## 第三室 奈良時代～南北朝時代（1）



①



奈良時代	平城宮木簡（複製） <small>もっかん</small>
指導要領とのかかわり 小6（1）のイ 中歴（2）のイ	木の札に文字が書かれているものです。この木簡には、武蔵国男衾郡の川面郷と余戸郷から奈良の都に荷物が送られたことが書かれています。

②



平安時代	瓦塔・瓦堂（美里町） <small>がとう がどう</small>
指導要領とのかかわり 小6（1）のイ 中歴（2）のウ	平安時代初めの、集落から出土しました。本格的な寺院の建立には莫大な費用がかかるため、焼き物で塔やお堂を作り信仰の対象にしました。重要文化財

③



平安時代	平治物語絵巻（模本）
指導要領とのかかわり 小6（1）のイ 中歴（2）のウ	平治元年（1159）源義朝と平清盛の戦いを題材にした絵巻です。絵巻の中には、金子家忠や岡部忠澄など多くの武蔵武士が描かれています。

## 第三室 奈良時代～南北朝時代（2）



①



鎌倉時代	<b>木造伝源頼朝坐像（複製）</b>
指導要領とのかかわり 小6（1）のウ 中歴（3）のア	源頼朝は、治承4年（1180）に伊豆で挙兵し、平氏を滅亡させて鎌倉幕府を開きました。この像からは、武家の棟梁としての風格がうかがえます。（原資料：東京国立博物館蔵）

②



鎌倉時代	<b>太刀 銘 景光景政</b>
指導要領とのかかわり 小6（1）のウ 中歴（3）のア	備前長船派の刀工景光（父）景政（子）の合作です。茎の銘文に嘉暦4年（1329）秩父郡出身の大河原時基が作らせ播磨の廣峯神社に納めたことがわかります。国宝

③



南北朝時代	<b>太平記絵巻</b>
指導要領とのかかわり 中歴（3）のア	南北朝時代を舞台に、後醍醐天皇の即位から鎌倉幕府の滅亡、建武の新政の失敗と朝廷の分裂、室町幕府の混乱などを絵巻にしたものです。県指定

## 第五室 室町時代～戦国時代



①



戦国時代	<b>三十二間筋兜</b> (複製) <small>すじかぶと</small>
指導要領とのかかわり (小6(1)のオ) 中歴(4)のア	兜の筋の間に三十三番神などの名を銀と真鍮で象嵌しています。鉢形城主であった北条氏邦が、秩父市棕神社に奉納したと伝えられています。原資料県指定

②



戦国時代	<b>雑兵物語</b> <small>ぞうひょう</small>
指導要領とのかかわり (小6(1)のオ) 中歴(4)のア	江戸時代初期に書かれたものですが、足軽たちの会話は関東方言で書かれ、戦国時代の雰囲気をよく伝えています。

③



戦国時代	<b>足軽胴と火縄銃</b>
指導要領とのかかわり (小6(1)のオ) 中歴(4)のア	足軽は、戦闘の最前線で活躍するため、武士に比べて身軽な装備です。足軽胴は、鉄板や皮に漆を塗った二枚の胴を蝶番と紐でとじ合わせています。



## 第六室 板碑—武士の心—



①



鎌倉時代	<sup>かろく</sup> 嘉禄三年銘板石塔婆（複製）
指導要領とのかかわり	板石塔婆（板碑）は、武士の供養塔です。阿弥陀三尊を浮き彫りにしています。嘉禄3年（1227）は現在確認されている最古の年代銘です。熊谷市
中歴（3）のイ	

②



室町時代	<sup>のがみしもごう</sup> 野上下郷石塔婆（複製）
指導要領とのかかわり	高さ 5.37mもある我が国最大の板碑です。長瀬町仲山城主阿仁和直家の追善供養のために応安2年（1369）に造立されました。応安は、北朝の年号です。
中歴（3）のイ	

## 第七室 江戸時代 I - 幕府の支配と村のくらし -



①



江戸時代	<b>川越城復元模型 (1/1000)</b>
指導要領とのかかわり 小6 (1) のオ、カ 中歴 (4) のイ、ウ	15世紀中頃、入間台地の先端に築かれた平山城で天守閣はありません。初雁城とも呼ばれ、本丸御殿が現存しています。

②



江戸時代	<b>忍城<small>しやちほこ</small> 鯨</b>
指導要領とのかかわり 小6 (1) のオ、カ 中歴 (4) のイ、ウ	忍城は、15世紀末期、成田親泰により低地帯の中の微高地に築かれた平城です。阿部忠秋から正武までの三代を通じて大規模な改築が行われ、この鯨はその時期のものとして推定されます。

③



江戸時代	<b>岩槻藩境界石標</b>
指導要領とのかかわり 小6 (1) のオ、カ 中歴 (4) のイ、ウ	岩槻城は15世紀中頃に築かれたとされ、石標は岩槻藩の境界を示すものです。藩領の北端、日光御成道沿いに立てられていたと考えられます。

## 第八室 江戸時代Ⅱ－社会の成長とゆらぎ－



江戸時代	<b>見沼代用水懸渡井通船之真景</b> <small>かけとい</small>
指導要領とのかかわり 小3・4(5)のウ 小6(1)のオ、キ 中歴(4)のイ、エ	見沼代用水は、幕府役人の井沢弥惣兵衛為永が、見沼溜井の新田開発を進めるために、享保13年(1728)に普請した灌漑農業用水です。



江戸時代	<b>見沼通船堀(模型)</b>
指導要領とのかかわり 小3・4(5)のウ 小6(1)のオ、キ 中歴(4)のイ、エ	通船堀は、見沼代用水と芝川を結ぶ水路です。ただ両者には比高差があるため、木製の関枠で水位を調節しながら船を進める、日本初の閘門式の運河です。

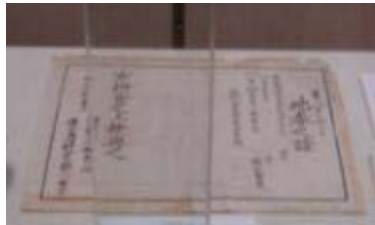


江戸時代	<b>木造小島庄右衛門坐像(複製)</b>
指導要領とのかかわり 小3・4(5)のウ 小6(1)のオ、キ 中歴(4)のイ、エ	葛飾郡庄内領の代官として10数年の歳月をかけて江戸川を開削しました。これにより水害に悩まされていた庄内領(春日部市域)は安定し、低湿地に新田開発を行った。

## 第九室 明治時代～現代—激動の時を超えて—



①



明治時代

指導要領とのかかわり

小6(1)のキ～ケ  
中歴(5)のア～オ

地券之証

政府は、明治6年(1873)地租改正を行い、土地の私的所有を認め地価を定め、土地に税金をかけました。地券は、所有者を証明するとともに、納税義務者を表示するものです。

②



大正時代

指導要領とのかかわり

小6(1)のキ～ケ  
中歴(5)のア～オ

ラジオ

日本初のラジオ放送は、大正14年(1925)3月22日、社団法人東京放送局が東京芝浦に設けた仮送信所から放送されました。やがてラジオ受信機の普及とともに、大衆娯楽の主役になりました。

③



昭和時代

指導要領とのかかわり

小6(1)のケ  
中歴(5)のカ  
中歴(6)のア、イ

衣料切符

衣料の原料となる綿は輸入品であったため、戦争が始まると真っ先に統制の対象となりました。そのためすべての衣料品に点数がつけられ、購入するために衣料切符が使われました。